

市民と市長の意見交換

5月29日(水)から7月4日(木)まで、各地区8会場において市民と市長の直接対話を目的としたまちづくり懇談会を開催しました。市民389人が参加し、「令和元年度主要施策について」をテーマとした説明と質疑応答を行いました。

問い合わせ 地域づくり課(☎402211)



主な質疑と応答

花と緑のぐんまづくり 2020 in 藤岡

Q 令和2年度の計画を教えてください。
A 令和2年度の計画については、第4回の実行委員会を開催し、4月27日(土)から5月19日(日)の23日間で行われた県内初の大型プレイベントの反省点を踏まえ、本イベントに係るテーマや会場などについて承認を得ました。また、本イベントは県と共催しますので、県の推進協議会幹事会で市から提案し、承認を得る流れとなっており、アトラクションなどについても早い段階で決定できると考えています。具体的な予定は、令和2年4月25日(土)から5月24日(日)までの30日間で、4月25日のオープニング会場のふじの咲く丘とし、サテライト会場のららん藤岡、中央公園、旧鬼石町中心市街地、おもてなし会場の市中心市街地など市内全域で花飾りを行う予定です。プレイベント以上に多くの市民の皆様やボランティアの皆様と共に、街中の花飾りや遊休地への種まきなどを行い、花いっぱいイベントにしたいと考えています。



ますので、今後ともご理解ご協力をお願いします。

英語教育

Q 小中一貫教育実施の中で、小学校に英語教育を導入しているが、現在の状況を教えてください。
A 令和2年度から新しい指導要領になり英語が必修科目になりますが、これに先行し、市では平成27年度から小学校での英語教育に取り組んでいます。今年度は1年生で年間14時間、2年生で年間15時間、3・4年生で年間25時間、5・6年生で年間50時間を英語および英語活動として学習しています。1・2年生は外国語指導助手であるALTと担任の2人での会話や歌を見て、聞いて、まねをして学習しています。3・4年

生は話すこと、聞くことを中心に学習し、5・6年生は話すこと、聞くことに加えて読むこと、書くことを学習して、自分の考えや気持ちを伝えるように取り組んでいます。また、小中一貫教育の一環として中学校の英語教員が小学校に出向いて子どもたちに教えることも行っています。令和2年度からは先行して始めた英語教育の授業時間が3・4年生は年間35時間、5・6年生は年間70時間となります。

バス路線

Q 高齢者による事故が多発していることから、免許証を返納しようと考えているが、車がないと買い物などができなくなってしまうので、バス路線などの変更をお願いしたい。
A 市内循環線の経路拡充については、さまざまな地区からも要望があります。現在、群馬藤岡駅を起点に市内を1周約1時間、市街地の主要な公共施設や店舗などを運行するルート設定で利便性を確保しています。拡充する場合、運行時間の増加による利便性を損なう恐れがあり、また、路線の新設については、1路線の運行には約1000万円の経費がかかります。バス車両の購入も必要とな

るため、慎重に検討をしていく必要があると考えています。今まで自家用車を使用されていた人が、路線バスを利用される際、不便と感じることは多いと思いますが、本市が運行するバス路線に関してその運行経費の多くは市の財政負担が伴いますので、需要や地域性などさまざまな要件を考慮して運行経路を検討していく必要があります。定期的にバス路線の経路、ダイヤ、運賃の見直しを行っていますので、今後はその中で検討していきたいと考えています。



防災備蓄品

Q 防災備蓄品がどの程度あるのか教えてください。
A 県が発表した地震被害想定調査により、避難者数から必要とされる市が備えている備蓄品は食料2万3000食、飲料水36000ℓです。そ

の他に毛布、設置型トイレ、ポケットトイレ、トイレトペーパー、紙おむつや粉ミルクなどが備えてあり、いずれも使用できる状態を維持するため適宜更新している状況です。備蓄量に関しては、市で備蓄計画を新たに策定する中で最低限度としている備蓄量を引き上げたり、民間業者と災害協定を結ぶなどし、災害時の供給に支障が無いよう準備します。



企業誘致

Q 藤岡市に働く場所の確保などをしてほしい。
A 働く場所については、企業誘致としてインターチェンジ西産業団地を令和2年度に分譲予定で県企業局と進めています。また、北部工業団地第2期も販売を開始し、申し込みや問い合わせを受けています。他に

も東平井工業団地第2期について地権者と開発に向け意見交換をしています。工業団地に優良企業を呼び込むことで市民の働く場所の確保ができ、また市外、県外からも人が来て、市が活性化するように進めています。

その他

まちづくり懇談会では本紙で紹介したほか、子育て支援、空き家対策、花火大会、太陽光発電、鳥獣問題、耕作放棄地、公民館改修などの質問がありました。概要や質疑応答は、各地区公民館または市ホームページをご覧ください。

まちづくり懇談会

期 日	会 場	参加者
5月29日(水)	鬼石公民館	49人
5月30日(木)	日野公民館	36人
6月4日(火)	平井公民館	33人
6月6日(木)	美九里公民館	44人
6月26日(水)	美土里公民館	63人
6月27日(木)	小野公民館	53人
7月2日(火)	神流公民館	49人
7月4日(木)	藤岡公民館	62人
合 計		389人